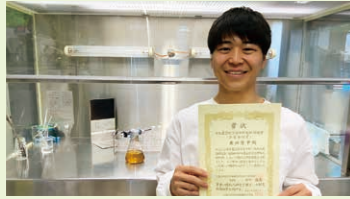


『福井県立大学つぐみ賞』受賞者紹介

生物資源学研究所  
生物資源学専攻 博士後期課程1年  
兼田 康平さん



三重大学で開催された日本農芸化学会中部・関西支部合同大会において、「細胞膜透過性改善技術を利用した微生物由来中分子ペプチドの探索」について発表し、中部支部企業奨励賞を受賞しました！

生物資源学研究所  
生物資源学専攻 博士前期課程2年  
足立 和也さん



広島県で開催された第37回日本放線菌学会大会において、「放線菌Streptomyces albulusにおける新規methionine合成経路の解明」について発表し、優秀ポスター発表賞を受賞しました！

生物資源学研究所  
海洋生物資源学専攻 博士前期課程1年  
上野 広海さん



オランダで開催された国際比較免疫学会において発表した、「抗ゼブラフィッシュIgM重鎖抗体を用いたIgM陽性細胞と血漿IgMの解析」の研究内容が評価され、九州大学で開催された日本比較免疫学会で若手研究者を対象の古田トラベルアワードを受賞しました！

生物資源学研究所 海洋生物資源学専攻 博士前期課程1年  
中地 智里さん



山形県で開催された第26回国際珪藻シンポジウムで、スピードトークに参加し、3位という好成績をおさめました！中地さんは、記憶喪失性貝毒を産生する有害種「ニセササノハケイソウ」について、小浜湾における分布や季節消長を詳細に知るため、フィールド調査、顕微鏡観察や遺伝子解析を組み合わせた研究を行っています。

生物資源学研究所 海洋生物資源学専攻 博士後期課程2年  
Eldrin Arguelles(エルドリン アルグエレス)さん



山形県で開催された第26回国際珪藻シンポジウムで、スピードトークに参加し、2位という好成績をおさめました！エルドリンさんは、河川で急速に分布を広げている移入種「ミズワタチルケイソウ」について、特に細菌との関係や増殖特性の解明を目指し研究を行っています。

男子バレーボール部



第50回森田杯北陸三県バレーボール秋季2部リーグ戦で優勝を果たし、部創設以来初めて1部リーグへの昇格を果たしました！

アメリカンフットボール部WILDERS



アメリカンフットボールの北陸学生秋季リーグ戦で2年ぶりの優勝を果たし、北陸代表として全日本大学選手権に出場しました！

本学関係者の著書紹介

図説 日本の湧水  
—80地域を探るサイエンス—

海洋生物資源学部 杉本 亮 教授 分担執筆  
(朝倉書店、2023)

国内の主要湧水80地点(小浜・大野盆地の湧水を含む)を取り上げ、科学的に解説したオールカラーの図説。観光ガイドブックとは一線を画し、水質データのみならず地形・地質と湧水の関係など科学的な視点から利用や保全までを解説する。



障害のある人が出会う人権問題

学術教養センター 根田 恵多 准教授  
分担執筆(成文堂、2023)

憲法研究者を中心に、人権論の専門家たちが「障害のある人の人権」について本気で考えた本。障害や福祉に関心のある人、障害当事者やその家族なども読者として想定し、生存権、自己決定権、平等、政治参加などについてわかりやすく解説している。



学位記授与式のお知らせ

2024年3月22日(金)  
永平寺キャンパス講堂

※今後のお知らせは本学ホームページに掲載します。

●お問合せ先:就職・生活支援課  
TEL.0776-61-6000

FPU NEWSについて  
ご意見・ご要望をお寄せください。  
抽選で県大グッズ(文房具)  
プレゼント!



# FPU NEWS

Fukui Prefectural University

特別企画

## 県大生留学体験談 —海外留学のススメ— 県大で学ぶ留学生



福井県立大学  
Fukui Prefectural University

No.121

2023 冬号



公式SNSで県大ニュース配信中!  
ぜひフォローをお願いします!

X (旧Twitter) Facebook





# 県大生留学体験談



## 海外留学の ススメ

海外が身近になった今、グローバルな人材が求められています。県大では多彩な海外研修・留学プログラムを用意しています。じっくり学べる長期留学やチャレンジしやすい短期海外研修、学生が自主的に参加する海外ボランティアへの補助制度もあります。外国語の習得や自分の専門分野について学ぶことはもちろん、海外の文化を見て、聞いて、感じてみてください！

### 長期留学

●協定校のある国・地域(2023年10月現在)  
アメリカ、中国、韓国、台湾、ベトナム、タイ、イギリス、カナダ

県大では、学術交流協定に基づき、海外16大学への交換留学制度や単位認定制度を設けています。協定校で取得した単位を県大での単位として認定可能です。留学期間は1年または1学期間(約半年)です。



看護学科3年 藤田 暁絵さん  
フィンドレー大学 (アメリカ)  
留学期間/2023年8月～  
2024年5月(10か月)



入学当初のオリエンテーション

2023年の2月にフィンドレー大学の短期研修に参加し、現地の学生や日本人留学生と交流したことがきっかけで、長期留学でも学びたいとなりました。

現在はIELPコースという、英語を母国語としない人向けの英語学習コースに入り、リーディング・ライティング・スピーキング等の授業を取っています。また、日本人という立場を活かして、日本語を現地の子供たちに教える授業や、日本の映画を観て現地の学生とディスカッションを行う授業を取っています。

大学ではイベントがたくさんあるので、毎日がとても充実しています。長期留学をすることで出会える人や築くことができる関係があると思います。少しでも興味があれば挑戦してみてください。

### 短期海外研修(原則1年生対象)

夏季休業期間または春季休業期間中に、1週間シンガポールの語学学校で英語を学びます。1年生の希望者みんなと一緒に学べるので心強く安心。海外経験の第一歩です！



経営学科1年 藤田 睦樹さん  
研修先/シンガポール  
研修期間/2023年9月(1週間)



マーライオン前の飲食街

今回、私たち12名はシンガポールの語学学校BlueSky Educationで、2～3分のスピーチが出来る事を目標に研修を受けました。

滞在中、異文化の一面として驚いた事は、ほとんどの人が毎食、外食をしている事です。主食だけでなくデザート等の屋台も豊富にあり、価格も手頃でした。

多民族都市国家といわれるシンガポールで、異文化に根付いた生活の体験が出来、文化的魅力を感じることが出来た事は、この夏休みの宝物となりました。

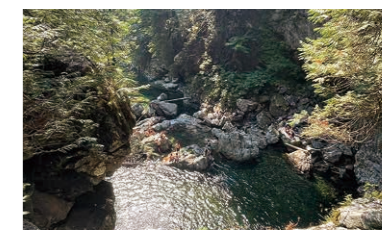
今まで得意だと思っていた英語ですが、リスニング力・スピーキング力の至らなさを、この研修で再認識出来た事も、一番の成果だと感じています。今後、英語力の向上にむけて、この経験を活かしたいと思います。

### 短期海外研修(2年生以上対象)

夏季休業期間を利用して、1か月程度アメリカ、カナダ、オーストラリア、イギリスの語学学校で英語を学びます。「海外語学研修(英語)」2単位を取得可能です。



海洋生物資源学科2年  
加美山 友颯さん  
研修先/カナダ  
2023年8～9月(1ヵ月)



川遊びしたリンキャニオンパーク

現地の語学学校に通ってました。入学前にアンケートがあって自分が伸ばしたい力によってクラスが分けられます。私はスピーキングとライティングに重点を置きたいと思っていたのでそれらをメインに行うクラスでした。学校にいるときは授業以外でも基本的に英語で話さなくては行けないので、話す力と聞く力がとても鍛えられます。

自分の英語力にある程度自信はあったのですが、本当に通じるのか分からなかったで、今回の留学は自分の力量を知ることができるとも良い経験になりました。また、海外に就職して海外に住むという選択肢ができ、将来の可能性が広がりました。

### 海外ボランティア

夏休みや春休みなどの長期休みを利用して海外ボランティア活動に参加する先輩もたくさんいます！自分の興味のある国の興味のある活動を自由に選ぶことができます。活動期間は活動によってさまざまです。



生物資源学科2年  
徳尾 日向子さん  
森林・泥地における動植物の保護活動  
(ドイツ)  
2023年9月(2週間)

言語を学ぶだけではなく、現地で活動している人々と関われる、自分の学部に関連したことを学べるという点に魅力を感じて参加しました。

主な活動内容は、森林や泥地での松や白樺、外来植物の伐採や運搬などです。また、現地のNABU(自然保護団体)の方から、自然・環境保護の方法や、生息する動植物について教わりました。作業中は沼にはまったり、木を運ぶのが重かったりとハードな毎日でした。一方で、一緒に活動したメンバーと夜までゲームや話をしたり、焚火をしたりして楽しみました。現地の人はとても親切で、毎回お昼にケーキを焼いて持ってきてくれました。

つらいこともありましたが、楽しいことのほうが多く、そして何よりたくさんの友達ができました。観光だけでは分からない、ドイツの生活、環境、文化などを知り、貴重な経験ができました。



ボランティアメンバーとNABUの皆さん



社会福祉学科4年  
加藤 可菜さん  
マザーテレサ施設ボランティア  
(インド)  
2023年8～9月(2週間)

社会福祉学科で、地域で暮らす人々を、当事者も含めて共に支えることを学びました。その中で、日本と異なる地域で暮らす人々に対してどのような支援をする事が出来るのか興味が出てきました。地域の重要性、またそこに介入するワーカーがどのような事が出来るのか知りたいと思い、参加することに決めました。

私はシャンティ・ダンという、障害のある身寄りのない女の子たちのための施設を中心に、洗濯、食事介助、排泄介助、入所者と会話をしたり、文字を教えたりすることもありました。

今回の経験を通して、その人にとっての幸せを考えることが出来ました。今後対人援助職を目指す私にとって大切な、相手を尊重する思考を養うことになったと思います。



一緒に活動したボランティアメンバー

海外留学・研修について  
詳しくはこちら！  
補助制度の紹介もあります！



### 海外留学・研修に行ってみませんか？

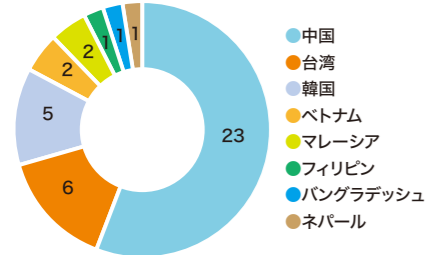
興味がある方は、永平寺キャンパス ワールドカフェにお気軽にご相談ください。参加した先輩の生の声も聞けます！



# 県大で学ぶ留学生

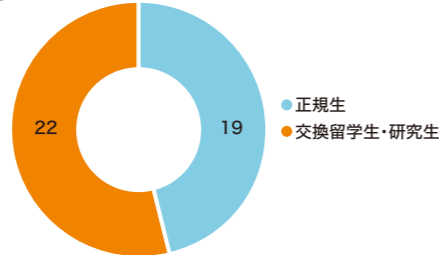
県大では、東アジアを中心に8の国・地域から訪れた41人の留学生が学んでいます。県大でがんばる留学生の皆さんをご紹介します！

## どこの出身？



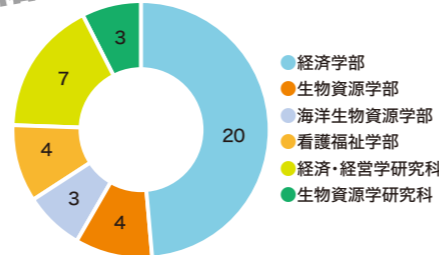
中国、台湾、韓国、ベトナム、マレーシア、バングラデッシュ、ネパールからの留学生が在籍しています。

## 在学形態は？



留学生には、学位を取得するために学部・大学院に在籍する正規生と、協定校からの交換留学生や短期間だけ滞学し授業や研究指導を受ける研究生がいます。

## 在籍学部・研究科は？



8割が学部生、2割が大学院生です。経済学部がおよそ半数を占めています。

## 県大で学ぶ留学生

留学生のお二人に、県大に留学した理由や研究内容、学生生活について聞いてみました！

生物資源学研究科 生物資源学専攻 博士前期課程1年  
**Hamida Khanom ハミダ・カノムさん**  
出身/バングラデッシュ



バングラデッシュのこと教えて！



南アジアに位置するバングラデッシュは、その活気に満ちた文化、息をのむような風景、そして数千年にわたる歴史に魅了される国です。首都ダッカのにぎやかな通りから静かな美しいシュンドルパンス マングローブ林まで、多様な魅惑的な体験ができます。

私は獣医学博士(DVM)の学位を取得し、鶏肉に由来する人体の大腸菌耐性の薬理学的影響について研究を行ってきました。こうした中、伊藤崇志教授の研究に出会い、伊藤教授の指導の下で研究を行うために福井県立大学への留学を決めました。

私が研究しているタウリンは食品に存在するアミノ酸で、肝臓に良い働きがあることが知られています。近年、細胞が増殖できなくなったり、炎症を引き起こす状態である“細胞老化”という現象と肝臓の病気が深く関連することが分かってきました。私は、タウリンの細胞老化への効果を解析し、老化や肝障害による肝臓の機能低下に対するタウリンの健康効果を明らかにしたいです。

研究以外にも、地元の祭りに参加したり、郷土料理を味わったり、史跡を探索したりと日本の生活と文化に触れることができている。県大での経験は私の学業の視野を広げるだけでなく、私の個人的な成長にもつながっていると感じています。



研究室の様子



みんなでバングラデッシュ料理作り

フィリピンのこと教えて！



生物資源学研究科 海洋生物資源学専攻 博士後期課程2年  
**Eldrin Arguelles エルドリン アルグエレスさん**  
出身/フィリピン



博士号取得のために日本で珪藻の分子生物学的研究をする計画を立てている時に、佐藤晋也教授を紹介いただきました。

私の研究では、メタバーコーディングとメタトランスクリプトミクスを用いて、外来種珪藻(Cymbella janischii)のブルーム形成メカニズムを解明することを目指しており、特に珪藻と微生物の相互作用に焦点を当てた研究をしています。

県大では、研究に直接的に関わるサイエンスや論文執筆のスキルが身につくだけでなく、多様なアウトリーチ活動の機会があるほか、自分の分野内外について学ぶことも奨励されており、私を研究者に育ててくれる素晴らしい環境だと感じています。

学生の皆さんからは、日本の文化や伝統をたくさん学ぶことができました。また、日本滞在中のコミュニケーションを向上させるために、たくさんの日本語を教えてくださいました。



ラボメンバーと談笑



九州サンプリングツアー

## 留学生が地元小学生と交流しました

11月23日(木・祝)に、本学の留学生12名と吉野小学校(永平寺町)の2、5年生13名の交流会が行われました。これは永平寺町吉野公民館主催の「おらが村でも国際交流事業」の一環として開催されたものです。

留学生と子どもたちは、一緒にこま回しやけん玉といった日本の伝統遊びをしたり、各国の食材を使ったオリジナルな焼き作りをしたりして楽しみました。



## YOLOサークル 活動中！

今年8月、留学生の、留学生による、留学生のための交流サークル「YOLOサークル」が立ち上がりました！“YOLO”とは、“You Only Live Once”(人生は一度だけ)という意味で、留学生が日本のことをもっと理解し、楽しい大学生活を送れるよう、なんでもやっていくサークルです。

現在留学生と日本人学生15人で、三国花火大会や永平寺町の大燈籠流しに参加したり、白樺祭で留学生の母国の料理を提供したりと楽しく活動しています！



白樺祭でマレーシアのご飯料理「ナシレマツ」とベトナムのサンドイッチ「バインミー」を提供し大盛況！

## World Café Ocean'sX に行こう！

県大には、外国人インストラクター、留学生、日本人が集まり、多文化交流ができるリラックス空間 World Café、Ocean'sX があります。気軽に立ち寄ってみてください！

### 永平寺キャンパス

## World Café(ワールドカフェ)

外国人インストラクター スニルさんとの英会話を楽しめるほか、学生主催の中国語、韓国語などの外国語勉強会や、TOEIC試験勉強会、海外映画の観賞などを行っています。留学生と一緒に楽しむ世界の料理イベントなどみんなが楽しめるイベントも開催しています。留学生の皆さんからの相談や、海外留学や海外ボランティアの相談も受け付けています。



スニルさんと英会話



昼休みに韓国語勉強会

### 小浜キャンパス

## Ocean'sX(オーシャンズエックス)

外国人インストラクター メリンダさんを囲み、英会話やゲームなどを楽しめます。TOEICなど英語の学習のアドバイスももらうこともできます。ワールドカフェと常時zoomで繋がりが交流しています。全てのキャンパスの学生が受けられるオンライン無料英会話レッスンも実施中です。



メリンダさんと英語を使ったゲーム



白樺祭の様子

## 先輩の声

学生時代に身に付けた英語力を活かして活躍する卒業生を紹介します！



BOSCH株式会社  
プロジェクトマネージャー  
**片岡 奏人さん**  
(生物資源学科 2022年度卒業)

現在、社内(営業、設計、工場)と客先と密にコミュニケーションを取り、受注したプロジェクトを開発段階から量産段階まで円滑に進むように社内外の調整を行う業務をしています。

オーストラリアとタイの方と業務上やり取りをする必要があり、英語でのメール作成や英語を使った会議など、英語が必要不可欠な環境の中で日々業務に励んでいます。意思疎通が難しい時も度々ありますが、県大での留学生との英会話練習の成果を活かして話をする事ができています。

ワールドカフェでは、留学生が自国の料理を作り振る舞う料理イベントが印象に残っています。どれも本場に近い味で絶賛の嵐でした。白樺祭にも出店し販売したところ大人気で、スタッフ皆で喜びを分かち合ったのはかけがえのない思い出です。

### 英語の勉強方法を教えて！

TOEICの学習に力を入れました。英単語帳を2冊丸暗記し、毎日英語のラジオを聞きました。また、試験1か月前から毎日過去問を解き、復習しました。その結果、3年生の時に2か月でTOEICのスコアを450点から810点まで伸ばすことができました。



# 第31回 白樺祭

第31回白樺祭を、  
永平寺キャンパス・小浜キャンパスで  
開催しました。

小浜キャンパス

開催テーマ 「海帰」にはコロナ禍前の活気ある白樺祭を目指す「回帰」に、小浜キャンパスの海洋生物資源学部の特徴である「海」の字を取り入れました。

海帰

10.7(土)・8(日)



軽音楽部ライブ



小浜中学校の吹奏楽パフォーマンス



ビーチクリーンサークル 魚釣りゲーム

永平寺キャンパス

開催テーマ 「STEP UP」には先輩方が逆境を乗り越え、守り抜いた白樺祭をさらに「STEP UP」させようという思いが込められています。

STEP UP

10.14(土)・15(日)



BBSサークル 工作教室



経済学科池本ゼミ企画 昭和レトロ展



地域の子どもたちも参加できる楽しいイベントも多数開催!

本学出身の音楽ユニット『ナナ・イロ』さんから  
メッセージをいただきました!

私たちナナ・イロは昨年結成20周年を迎えました。20年前にこの福井県立大学で出会い、白樺祭での軽音部のライブに出るために2人で組んだことがきっかけです。今回こうしてまた大事な場所で演奏する機会を頂けて嬉しくてありがたい気持ちでいっぱい。もしこの場所に出会っていなかったら今の私たちは無いと思うと、本当に大切なかけがえのない巡り合わせを頂きました。在校生の皆さんにも素敵な出会いが沢山あることを心から願っています。



ナナ・イロ  
福井県立大学軽音部にて結成された、うつみあいさん、いわほりみちこさんの2人からなる音楽ユニットです。白樺祭2日目には、ナナ・イロのスペシャルステージが行われ、多くの来場者がその歌声に聞き入っていました。



ナナ・イロ公式HP

あわらキャンパス  
収穫祭

あわらキャンパスで創造農学科学生の成果発表の一環として、収穫祭を開催しました。

11.3(金・祝)



農業インターンシップ発表会



県大開発品種等で作った加工品を販売

## FPU トピックス

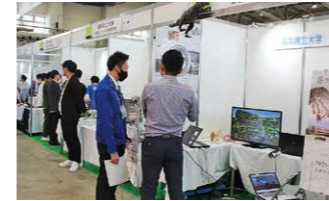
海洋生物資源学部と関係企業等との間で  
共同研究等に関する連携協定を締結しました!



10月5日(木)に本学海洋生物資源学部、福井県、関西電力株式会社、リージョナルフィッシュ株式会社、ふくい水産振興センターの5者で連携協定を締結しました。

本協定は、「ふくいの水産業基本計画」に基づき、嶺南地域において持続可能かつ地域活性に貢献する水産事業の創出を図るために締結されました。マサバやアカウニ等の品種改良の研究や陸上養殖の事業化に関する共同研究等を行い、養殖生産の安定化を図り、地域社会の発展に寄与することを目的としています。

北陸技術交流テクノフェア・ふくいITフォーラムに  
出展しました!



10月19日(木)、20日(金)、福井県産業会館で開催された、北陸技術交流テクノフェア、ふくいITフォーラムに出展しました。

北陸技術交流テクノフェアでは、パン用コムギ新品種やカキ・海藻養殖技術など、輸入食品の県産化を目指す「30周年研究プロジェクト」を紹介しました。

ふくいITフォーラムに出展した恐竜学研究所のブースでは、2025年度に開設予定の恐竜学部(仮称)の紹介や、恐竜が生きていた世界を体験できるVR体験を行いました。情報センターのブースでは、ChatGPTなどの生成AIを使った授業の紹介や、小中学生向けAIビジネス教室についての成果を紹介しました。

創造農学科篠山治恵准教授が新種の菊  
「エンジェルウイング」を開発しました!



創造農学科篠山治恵准教授が開発したスプレー菊「エンジェルウイング」の品種登録が農林水産省に認可され、10月28日(土)にPRイベントをJR芦原温泉駅アフレアホールで行いました。

「エンジェルウイング」は鯖江市の菊生産者が自然交配した種子を創造農学科が譲り受け、篠山准教授の研究室で系統間交雑と選抜を行い、開発しました。1本の茎に一般的な品種の5倍に当たる100個ほどの花が咲くのが特徴で、花の色は咲き始めが白色、次第に薄いピンク、濃いピンクと移り変わります。

篠山准教授は「県内外を問わず、希望者が栽培できるようにしたい。色が薄いので何にでも合う。その『協調性』を売りに、新幹線の県内開業を歓迎する花にもなれば」とコメントしました。

タイのナコンラチャシマ・ラチャパット大学附属珪化  
木鉱物資源東北調査研究所長らが来学しました!



10月12日(木)に本学恐竜学研究所と学術交流協定を締結している、タイのナコンラチャシマ・ラチャパット大学附属珪化木鉱物資源東北調査研究所長兼コラート化石博物館長のナツティニー・トンドー氏らが来学しました。同研究所とは平成25年に学術交流協定を締結して以来、共同で化石発掘調査を行っており、これまでに3種の新種恐竜を発見するなどの成果を上げています。

恐竜学部(仮称)の構想説明の後、タイでの合同化石発掘調査や留学生の相互受入など、恐竜学部(仮称)の開設後の研究や教育の連携強化について意見交換しました。

生物資源学部と県立金津高等学校との間で  
教育研究交流に関する協定を締結しました!



10月17日(火)に本学生物資源学部と県立金津高等学校との間で教育研究交流に関する協定を締結しました。本学と金津高校の教員や学生・生徒同士の交流による、課題探究活動のレベルアップや「食」「環境」「農業」等へ興味関心を持ってもらうことを通して、未来の地元福井を担う人材を育成することを目指しています。

生物資源学部の日井隆雄学部長は「既に双方の交流はあるが、協定締結でより強い絆をつくり、深い学びにつなげたい」とコメントしました。

「MISAKI未来農園プロジェクト」始動!  
一越前水仙の産地再生を目指すー



経済学部杉山友城教授研究室、上岬地区を良くする会、福井丸岡RUCK、イワタグループ、岬クリエイターズの5者で公民連携プロジェクト「MISAKI未来農園プロジェクト」を始動させました。

越前水仙は獣害や生産者の高齢化という課題に直面しており、その出荷本数は大きく落ち込んでいます。5者はそれぞれの得意分野を活かし、農地を維持する仕組みづくりや商品開発、水仙ファンを広げる販路開拓などに取り組みます。

本学経営学科4年生で日本女子フットサルリーグ所属「福井丸岡RUCK」の池内天紀さんは「国際親善試合などでPRし、国内外の人に福井の花・水仙を根付かせていきたい」とコメントしました。

杉山教授は「5者だけで完結させるつもりはなく、いろいろな人たちと広く新しい取り組みをしたい」とコメントしました。